

池の平湿原

池の平湿原（いけのたいらしつげん）は湯の丸高原（ゆのまるこうげん）の東側に位置する。三方ヶ峰（さんぼうがみね）と見晴岳（みはらしだけ）が隣接しているほか、近くには東籠ノ登（ひがしかごのと）、西籠ノ登（にしかごのと）、水ノ塔（みずのと）の山々もある。これらの山々へは複数の登山道が延びており、日帰り旅行には最適である。湿原にある希少な高山種の多くは、標高の高い場所以外ではめったに見ることができない。ここでは、生態系を踏み荒らされないように作られた木製の遊歩道からそれらの植物を観察することができる。遊歩道の北端から 15 分ほど登ると三方ヶ峰（2,040 m）の頂上に着く。そこから見晴岳（2,095 m）へは 30 分の道のり。

東籠ノ登山（2,228 m）や西籠ノ登山（2,212 m）、水ノ塔山（2,202 m）へと続く登山道は駐車場からアクセスしやすい。東籠ノ登山山頂までの所要時間は約 40 分で、そこから登山道は分岐する。分岐点から西に進むと西籠ノ登山まで約 30 分、東に進むと水ノ塔山まで約 40 分の道のりである。三方ヶ峰、見晴岳、東籠ノ登山の山頂からは、浅間山（あさまやま）、中央アルプス（ちゅうおうあるぷす）、北アルプス（きたあるぷす）、さらには遠く離れた富士山（ふじさん）など一帯の素晴らしい景色を望むことができる。